

## 令和6年度 第3回平田地域協議会会議録（要約）

日 時	令和6年9月4日（水）午後1時25分～午後2時55分				
場 所	平田総合支所 302号室				
出席委員	12名				
	1号委員	長堀 恵理	田中井広志	小野寺孝延	佐藤 恭子
		佐藤 善仁	丸山 清	枝 春男	加藤佐和子
	2号委員	石黒 由香	佐藤 正一	須田 祐司	久松 由華
欠席委員	3名				
	1号委員	佐藤 芳紀	前田 恵次	今井さち子	
酒田市出席者	平田総合支所長			阿部 司	
	平田総合支所長補佐兼地域振興係長			池田 徹	
	平田総合支所地域振興係主査			阿部 光正	
傍聴者	なし				
議事日程	1. 開 会				
	2. あいさつ				
	3. 会議録署名委員の選任				
	4. 報告				
	（1）平田地区7月25日の大雨による被害状況について				
	5. 協議				
	（1）地域振興について（意見交換）				
	（2）その他				
	6. その他				
	7. 閉 会				

### 【協議会の概要】

第2回目に引き続き地域振興についての意見交換を行なった。ひらた生涯学習センターで実施したい内容や事業について話しあった。

### 【会議録（要約）】

1. 開会
  - ▶事務局より開会と欠席委員3名の報告
2. あいさつ
  - ▶石黒由香会長あいさつ
  - ▶阿部支所長あいさつ

### 3. 会議録署名委員の選任

- ▶会議録署名委員はこれまでどおり名簿の順番に指名することとし、佐藤善仁委員を指名した。

### 4. 報告

#### (1) 平田地区7月25日の大雨による被害状況について

- ▶資料に基づき池田支所長補佐が説明

#### 【4. (1) に対しての意見・質問】

##### ○佐藤正一委員

平田と鮭川で車が通れる道路はあるのか。

##### ○阿部支所長

現在車で通れるのは、この県道平田鮭川線一路線のみで、この道路も山のほうに行くと、舗装道路も途切れているため、車で行くことはできない。

##### ○佐藤正一委員

道路は整備されているという状況ではなく、歩けば行けるという獣道程度の道なのか。

##### ○阿部支所長

数十年前は草刈りをしながら、鮭川との交流をしていた時代もあったが、今は草刈りもされていないので、人が通行するにはそれなりの伐採などの準備をしないと、通行はおそらくできないと思う。

##### ○加藤佐和子委員

私の住んでいる所を上がっていくと小さい橋がある。その橋が今回の災害で落ちてしまい車が通れない状態となっているが、草刈などでその先に行かなければいけない人は、近くに車を止めて、歩いて行っているという状況である。復旧の目途はあるのでしょうか。

##### ○阿部支所長

被災を受けた施設の種類によるが、一番早いのは生活道路になる。次に農地、市が単独でできるものは被災直後から土砂を撤去しているが、国や県が行う大規模な整備に関しては、これから国土交通省などが現地へ査定に入るため、復旧はそれ以降となる。まだ復旧時期の目途は具体的に示されていない。そのため、その落ちた橋が農道か林道か市道かにより復旧時期は変わる。

##### ○加藤佐和子委員

田んぼも上の方にあるので、稲刈りができなくなるのかなと思う。

##### ○阿部支所長

個別の路線復旧については、地元の自治会長さんや生産組合と相談をしている。農地、農道については、農家の皆さんに自己負担をかなりお願いすることになるため、そもそも復旧をどうするのかなどもご相談させていただいている。

### 5. 協議

#### (1) 地域振興について（意見交換）

##### ○石黒由香会長

私から本日のテーマについて提案がございます。酒田市は、ひらた生涯学習センターを近い将来、テニスコートを除き、廃止し、東陽コミセンの機能をみどり館に移転する方針を示しています。

この方針は、公共施設の数を適正な数に削減するための会議で検討されたもので、今年度は松山及び平田地域の公共施設を対象に協議された。皆さんから前回の協議会でご提案いただいたイベントには、ひらた生涯学習センターを核として実施されるものもある。

ひらた生涯学習センターは、中山間地域の地域活性化のために必要な施設である。廃止された施設の代替が建てられることは考えにくく、このままでは、地域の核、地域振興の活動の拠点が、またひとつ消えてなくなっていく。ならば、今ある施設を活用し、地域資源や自然とふれ合える機会として世代を超えて体験でき、また地域のすばらしさを地域外にも発信できるよ

うに、今何をすべきかを考えなければいけない。

そこで、ひらた生涯学習センターだからこそ実施できる、実施したい内容のイベントや事業についてご意見をいただきたい。

そして、今日の意見を次回4回目の協議会までに集約し、最終的には今年度の市長報告会に、事業の目的や内容から、ひらた生涯学習センターで行う必要があること。そして、ひらた生涯学習センターを今後も維持し、必要な補修をすることなどを市長報告会へ要望する方向で進めていければと考える。

▶池田支所長補佐が資料と意見交換の進め方について説明

その後、委員が2班に分かれて意見交換を行い、各班で出された意見を発表した。

○石黒由香会長

【A班の意見】

生涯学習センターを存続させたいという大前提がある。

地元の人たちが活用するということが少ないということで、他県の大学生や高校生が訪れたいというようなイベントを提案し、活用する。

東北公益文科大学の学生から卒論のテーマにしてもらい、実践してもらう。

みんなが使いやすいように生涯学習センターの敷居を低くできるように変えていく。

○丸山清副会長

【B班の意見】

平日は、昔やったことがあるらしい通学宿泊をもう一度復活させたいという意見があった。

その他には、生涯学習センターを利用して、夏休みや冬休みに実行委員会形式で林間学校を行い、地域の特色を体験できる「仮称里山学校」を開催してみたいという意見がある。そのなかで出てきたのが艇庫、水辺の楽校や十二滝、経ヶ蔵や胎蔵山などの山やグラウンドゴルフなどその周辺の様々なアウトドアの機能を体験できるようなプログラムを取り入れる。

そば打ちができる人はそば打ち体験を行い、ピザ窯を持っている人はピザ焼き体験を行い、餅をつける人は餅つき体験を行う。その他にも芋ほりやジャガイモほりなどの体験を組み合わせる生涯学習センターを活用していきたいとの案が出た。

○丸山清副会長

今日の意見を市長に会って話す機会があるので、市長さんに協力してもらわないとできない内容のものが欲しい。自分たちが「やります、やります」だけだと、どうぞやってくださいで終わってしまう。

○久松由華委員

生涯学習センターや中山間地域の施設は、利用状況の数字だけで廃止の判断をしないでいただきたい。

○丸山清副会長

普通に直すところは直していただきたい。全部屋根を張替えてほしいとは言わないが、危険でない程度には直してほしい。

(2) その他

参考資料2（年度別デマンドタクシー利用者数・運賃収入・運行経費等推移について）

▶資料に基づき池田支所長補佐が説明

【5（2）に対しての意見・質問】

○佐藤正一委員

路線変更の時期についての質問があったと記憶しているが、いつ頃になりますか。

○池田支所長補佐

具体的な時期については、まだわからないということである。

6. その他

- ▶車賃の支払いの事務連絡

7. 閉 会

- ▶丸山清副会長閉会